

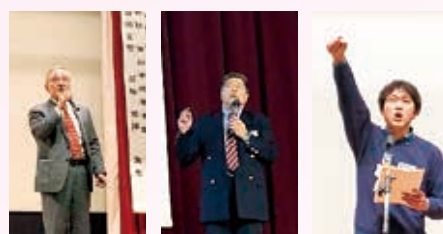
畜産部

和牛繁殖農家全体研修会開催

J Aグループ和牛繁殖飼育者協議会とJ A全農福島は、2月13日(木)に郡山市のユラックス熱海において、県内の繁殖農家や関係者ら約700名の参加により和牛繁殖農家全体研修会を開催しました。研修会に先立ち多頭販売優良生産者の表彰式が行われ、受賞者を代表して、佐藤牧場株式会社(J A夢みなみ)に表彰状と記念品が贈られました。

研修会第1部では一般社団法人畜改良事業団前橋種雄牛センター次長田中健一氏から「ゲノム育種価について」と、J A全農北日本くみあい飼料(株)から「購買者から求められる丈夫で飼い易い子牛生産」第2部ではJ A全農ミートフーズ(株)東日本営業本部市場課技術主管富谷尚博氏から「枝肉相場と枝肉成績上位の血統について」ご講演をいただきました。最後に生産者を代表して佐藤正和氏(J A夢みなみ)のがんばろう三唱により生産基盤強化への意識高揚をはかり研修会を終了いたしました。

多頭販売優良生産者受賞者は以下のとおりです。



講師 (富谷尚博氏) 講師 (田中健一氏) がんばろう三唱 (佐藤正和氏)



受賞者代表 (佐藤牧場(株))

- 【特別表彰者 (年間50頭以上販売)】
- 佐藤牧場(株) (J A夢みなみ)
 - 沢口 和久 (J A東西しらかわ)
 - (株) J A東西しらかわグリーンファーム (J A東西しらかわ)
 - 古山 優太 (J A福島さくら)
 - 佐藤 博文 (J A夢みなみ)
 - 小林 清三 (J Aふくしま未来)
 - 安齊 栄太郎 (J Aふくしま未来)
 - 渡辺 健介 (J Aふくしま未来)
- 【表彰者 (年間30頭以上販売)】
- 近藤 和栄 (J A夢みなみ)
 - (株) 桜井アグリS (J Aふくしま未来)
 - 吉田 勇 (J A福島さくら)
 - 菊地 信治 (J A夢みなみ)
 - 大谷 知徳 (J Aふくしま未来)
 - 佐藤 隆男 (J Aふくしま未来)
 - 高橋 和治 (J A夢みなみ)
 - 長久保 誠一 (J A東西しらかわ)
 - 佐藤 一郎 (J Aふくしま未来)
 - 齊藤 正剛 (J Aふくしま未来)
 - 古川 正範 (J A福島さくら)
 - 小林 和巳 (J A夢みなみ)
 - 伊東 一之 (J A夢みなみ)
 - 水野 谷和洋 (J A夢みなみ)
 - 吉田 伸 (J A東西しらかわ)
 - 佐久間 清伸 (J A夢みなみ)
 - 服部 あけみ (J A夢みなみ)
 - 高橋 将志 (J A福島さくら)
 - 白旗 善春 (J Aふくしま未来)
 - 矢内 一幸 (J A夢みなみ)
 - 二瓶 浩一 (J A会津よつば) (敬称略)

J Aグループ福島酪農家全体研修会開催

2月19日(水)、福島県農業総合センターにおいてJ Aグループ福島酪農協議会と本会主催の「令和元年度J Aグループ福島酪農家全体研修会」を福島県、県内の酪農家、J A担当者、酪農関係団体の約60名が参加し開催しました。

研修会では、乳質環境改善に対する意識高揚と技術向上による良質乳の生産を目的とした乳質環境改善コンクールの第25回表彰ならびに最優秀者の事例発表を実施しました。

酪農経営は、高齢化や後継者不足、さらには生産コストの増高により、ますます厳しい状況にあります。しかし、このような状況下でも酪農家の皆さんは工夫し衛生環境の向上に努め、高品質乳の生産をしています。

今回、最優秀賞を受賞されたJ A福島さくら管内 (株) 佐久間牧場の佐久間哲次氏からは、震災から現在の営農再開に至るまでの経緯、自社経営の特徴である、①白血球全頭検査②アクティビティメーターシステム③ソーラーパネル設置による暑熱対策等の取組をお話いただきました。

語っていただきました。その後、ラジオ福島の山地美紗子アナウンサーを講師に迎え、「声を出して、心も体も元気に!」と題して、早口言葉やイントネーション等、コミュニケーションをとるために活用できることを楽しくわかり易い内容で講演をいただきました。

今回の研修で得た情報が有意義に活用されることを祈念し、研修会を閉じました。



遠藤与市協議会 副会長挨拶



講師の山地美紗子アナウンサー



最優秀賞受賞者の(株)佐久間牧場 様

米穀部

令和元年度ふくしまの米 求評懇談会

2月25日(火)、東京ステーションホテル(東京都千代田区)において「ふくしまの米」求評懇談会を開催しました。J A全農福島とふくしま米需要拡大推進協議会の共催で、全国の主要取引先等13社から15名と産地側からJ Aグループと福島県の役員20名の合わせて35名が出席して行われました。

懇談会では、産地代表としてJ A福島五連菅野孝志会長、取引先代表として全米販の木村良理事長と(株)むらせの村瀬慶太郎社長があいさつした後、全国の米穀情勢と元年産の作柄等について報告をおこないました。また、産地の取組みとして、当県本部より「全農福島の販売方針」と「令和元年度米販売計画について」、「米の全量全袋検査からモニタリング検査への移行について」、「福島県の農林水産物PR対策の概要について」を説明しました。

「ふくしまの米」に関する意見交換では取引先から「ふくしまの米」に向けての意見や要望をいただきました。北海道から沖縄までの福島県産米の使用状況等が紹介された他、業務用米を中心とした安定的取引を求める声を多くいただきました。また、台風被害を受けた産地への支援のお言葉も多くいただきました。

会議終了後には懇親会を開催しました。「コシヒカリ」「天のつづ」「里山のつづ」の3銘柄毎にお結びを用意し、食べ比べをしていただきました。そのほかの食材についても福島県産の旬の食材を使用した料理を振る舞い福島県の魅力を発信しました。



全米販の木村良理事長



(株)むらせの村瀬慶太郎社長



菅野会長を筆頭に産地の情勢報告を行いました



活発な意見交換がおこなわれました



コシヒカリ、天のつづ、里山のつづの食べ比べ



福島県産食材を使った料理